

噴煙

第24号
阿蘇市文化協会
広報委員会
〈印刷所〉
つるばやし印刷

新年のご挨拶



阿蘇市文化協会
会長 小嶋 維男

新年明けましておめで
とございます。

昨年は久方ぶりに自然
災害の少ない年でしたが、
地震からの復旧復興には
引き続き苦勞の多い年
なりそうです。

昨年四月の姜尚中館長の
文化講演会を皮切りにス
タートした阿蘇市文化協
会、会員各位はもとより、
市教育委員会をはじめとし
て関係団体のご理解ご支援
の下に、新期の事業を達
成することができました。
一昨年から取り組んで
きましたトップダウンか
らボトムアップへの意識

改革、文化祭前日の準備に
はかつてない数の会員の
参加を頂き予定通り設営が
なされ、最終日の撤収も
多くの会員の協力によりス
ムーズに終了できました。
本年も会員の皆様の文
化創造活動をしつかり支
え、楽しくかつ有意義な
企画や、昨年役員研修で
行ったお隣り竹田市では
新装される文化ホール開
館イベントとして、一流
アーティストの公演が破
格の料金で鑑賞できそうと
か、他にも県立劇場とも
連携を進め、市民の皆様の
心の復興にも寄与できま
すよう努力して参ります。
会員はじめ阿蘇市民の
皆様方にとりまして、よ
り良い年でありませう
ご祈念申し上げ新年の挨拶
とします。

副会長

豊後 暁美



明けましておめ
とございます。
新年度の抱負と
いう課題をいただき
ました。不慣れな立
場にて何をどのよ
うに書こうかと迷い
ましたが、浮かんだ
ことを書いてみます。

昨年の文化祭は、たくさんの方々の輪で
無事に終わりホッと安堵致しました。どう
したらもっと、はば広く会員を増やせるか、
今はそれが一番の課題です。
文化協会は、小さな輪では難しく、大き
な輪になってこそ、すばらしい展示、舞台
が成り立つと思えます。伝統芸能を後世に
残すためにもより一層、皆さんの協力をお
願い致します。

副会長

首藤 雅子



熊本地震から一
年余、昨年十一月三
日〜四日に開催さ
れた阿蘇市文化祭
は、一年間の空白
を埋めるかのよう
に、展示の部、ス
テージの部も力のこ
もったものでした。

会員の皆さまと、役員の皆さまとの協力によ
り、スムーズな運営が出来たと思えます。
新年を迎えてこの一年が、穏やかに推移
することで、そして会員の皆さまが、さま
ざまな文化活動を通して多くの人と交流し、
阿蘇地域が元気になることを願っています。

副会長

岩下 哲三



「文化を生活へ、
潤いを」
災害復興にご尽
力頂いている皆様
に心より感謝申し
上げます。阿蘇の
文化を育み、しづ
とくも生活に根付

いた敬うべき伝統文化。今を生きる地域の
役割を繋げる文化活動の裾野を広く厚く
「研鑽を拡がりへ」、「共感を育成に」を
広げられたらと思っております。
ご多幸をご祈念申し上げます。

展示委員長

岡本 芳郎



第十一回文化祭
出展作品は素晴ら
しい作品が数多く
出品され又、特別
出展の川口もと子
先生（絵画）、井上
邦子先生（書道）、
大変有り難うござ
いました。又、小

中学校の生徒の皆様も数多く出品頂
き、それを飾り付けされた先生方にも御苦
勞おかけしました。

どの作品も多数の人に見てもらい感動を
与えた事と思えます。今年もよろしくお願
い致します。地震の為一年の空白がありま
したが、昨年も作品を見ながら元気をもら
いました。

本日に皆様には会場設営から最後の片付
けまで大変お世話になりました。

「逆境を乗り越え、大好きなふるさとと共に生き

阿蘇中央高校
教諭 荒巻 雅代



アトラクション

第11回
阿蘇市文化祭

震災後初の市文化祭

『みんなで花を咲かせましょう』を

モットーに華々しく開催しました!!

第11回 阿蘇市文化祭



全員で踊る一曲に将棋の人氣にあやかって「歩」を選曲。徐々に選曲ミスだと思えてきたしかし、本衣装での舞台練習で「カッコイイ！」を連発していた私を思い出しました。

ぎよくせん会

泉 ケイ子

ステージ部門

第11回 阿蘇市文化祭



第11回 阿蘇市文化祭



フラダンス

多久みつ子

自分の健康、自分の人生、自分で守ろうをモットーに、素足で行うフラダンスを始めて二十年、六月に県劇での発表、そして阿蘇市文化祭出場と皆で頑張りました。今後とも和を大切にしていきたいと思っています。

第11回 阿蘇市文化祭



大阿蘇御神火太鼓保存会

宮部 絹代

昨年の文化祭は、AL Tのガズローレンさんの「日本の文化に触れたい」と言う情熱とバイタリテイあふれる心に感動し、会員一同異体同心となって、頑張りました。今後も新曲に挑戦して参りたいと思います。





阿蘇市文化祭で救護を担当しました。初日は何事もなく、二日目に歩行困難になられた方を車椅子にて対応しました。ご本人様の希望もあり、翌日が休診という事を考慮し病院へ受診して頂きました。

救護 井野やす子

展示やステージの発表から一生懸命さが伝わってきました。皆さまの頑張り私の励みになりました。今後も学ばせて頂きます。

司会 川島まゆみ

マに書に臨みました。あのような大きな場での貴重な経験は、生徒にとりまして良い自信となり、書活動への更なる励みになりました。

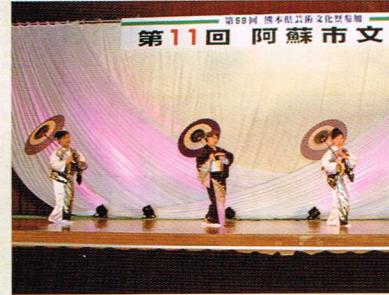


阿蘇市合併時に入会し、ロウケツ、絞り、型染め・藍染め・柿洪染等たくさんの技法を学び、オリジナルのデザインで制作できるようにしました。もっと高度なデザインでの制作を、との思いで勉強しております。

阿蘇染色教室

小野真由美

展示部門



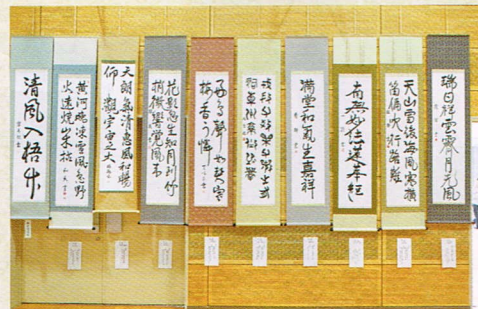
阿蘇市文化祭に参加出来るという事は、私たち手話サークル「阿蘇わかぎ」にとりまして発表の機会を頂き日頃の学習に大変良い励みになっていきます。

阿蘇わかぎ 岩永貴美子

かな書道教室が大谷ますみが始まって、五ヶ月、まだまだ充分な練習も出来ていない中での参加でした。月二回古神学習センターでの和気あいないの練習は、筆のもち方、運び方等基本練習を主にやっていたので、文化祭にどんな形にして参加出来るかが課題でした。いろいろアイデアを出し合いながら協力し合い楽しい作品作りが出来てきました。今回の挑戦を糧に次回も頑張ろうと思えます。

かな書道教室

大谷ますみ



教室めぐり



油彩 50号 「早春の阿蘇谷」
関 英輝

火曜会員の活躍

ちよつと自慢させてもらいます。毎年県美展、銀光会展、描く力展に応募、必ず入選しているお二人（関 英輝氏、山野紘三氏）が二十九年もやってくださいました。中でも銀光会公募展で関氏は県文化協会賞を受賞されました。感想を寄せて頂きました。

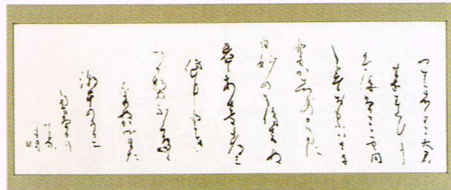
綾部さよ子氏（一の宮町在住）

井茂圭洞、井田峰月、井上邦子先生に師事

- ・読売書法会 幹事
- ・読売女流書法会 評議員
- ・一東書道会 理事

【受賞】

- ・熊日書道展 秀作三回
- ・読売女流書法展 準大（2010年）
- ・読売書法展 読売奨励（2014年）
- 改組新
- ・第四回日展初入選（2017年）



改組新 第四回日展
（2017）
やすみし

一般研修（観劇）

平成二十九年十二月七日、熊本県立劇場にて和太鼓演奏グループDRUM TAOの公演を観劇しました。



受賞

銀光会絵画公募展で「熊本県文化協会賞」をいただきました。根子岳の麓から久住山系を望む阿蘇谷の空気「時の流れ」を描きました。銀光会は県内在住の画家の集団です。公募展も昨年で八十回を数え、スケッチ会や写生会などを行い県民の画力の向上を目的に活動されています。今後とも健康維持のため楽しみながら描き続けていきたいと考えています。

火曜会員 関 英輝

おめでとうございます。

震災後それまで御指導下さった川口もと子先生を離れて会員のみ活動が続きましたが幸い、中尾和弘先生に来て頂くことになり、それ以来水を得た魚となつて頑張つたのが今回の受賞なのだと思います。新会員も増えて、描く楽しさを分かち合っています。(K・N)

文化活動 詩吟

義士まつり

平成29年11月26日(日)
プラザホテル 参加90名



香雲堂吟詠会阿蘇中央本部主催の義士まつりを開催いたしました。赤穂義士の討入後、切腹までのお世話（約十二人）を細川藩が致しました。義士としての厚遇をしましたので吟詠を通じ、思いを伝える行事です。直接世話をした山鹿出身の家来、用人もいましたので赤穂市と山鹿市は姉妹市となっております。

文化交流会

平成29年9月24日(日)
プラザホテル 参加80名



前文化協会会長 山部立山（七生）氏が主催されている文化交流会（詩吟）が、今回は第三十回目の節目の年でありました。熊本市、福岡、長崎等より各教室から出吟されました。

会員募集

阿蘇市文化協会では、平成30年度会員を募集しています。いつでも誰でもお気軽に多数の入会をお待ちしています。お気軽にお問い合わせください。

〔連絡先〕
阿蘇市文化協会事務局 ☎0967-32-3218(小嶋)



編集後記

広報委員に携わって一年がたちました。先輩方の御苦労を思いつつ、たくさんの方々の方々の支援によって今号も無事発行することが出来ました。原稿の依頼に快く応じていただいたり、文化祭の写真を提供してくださったり、ご協力頂いた皆様には感謝申し上げます。今後とも宜しくお願いいたします。
(城野)